

金沢21世紀美術館11月のプログラム

11
2013

2013年11月に実施される金沢21世紀美術館主催事業についてお知らせいたします。

各催しの告知ならびに当日のご取材など、ぜひ貴媒体にて報道して頂きたくお願い申し上げます。

各事業の詳細につきましては決まり次第随時お知らせいたします。

11月からオープンする展覧会と関連イベント



柿沼康二 書の道 “ぱーっ”

11月23日(土)～
2014年3月2日(日)

柿沼康二は、1970年生まれ。現在東京を拠点に活躍する書家です。5歳から筆を持ち、父である柿沼翠流、手島右卿、上松一條に師事しました。「書はアートたるか、己はアーティストたるか」との命題を立て、既存の書に収まらない新たな書の地平に挑み続けてきました。

柿沼康二の作品の特徴は、書の古典に立脚した今日的な表現にあります。書の原理を問いつつ今日の美術として書を捉えていこうとしています。「吸って吐いて、自由な書！」とは、柿沼康二の目指す書の在り方です。表現スタイルには、いくつか代表的なものがあります。古人や能筆家との対話の場である臨書。臨書から形式発展させ、他者の言葉を柿沼流に作品化する「エンカウンター(出会うこと)」。書の原理である墨を使って絵画的に展開する超大型の作品群。あるいは、大型の作品での例が多い制作プロセスを観客と共有するパフォーマンス。ひとつの言葉にこだわり、それを執拗に繰り返す「トランスワーク」。書を時間的、空間的に発展させて、巨大なスケールで展開したインスタレーション。

このように、柿沼康二の書は、書、現代アート、サブカルチャーと関連して展開した今日的な表現です。それは、明日へと向かう希望の書であり、自由で、未来に向かって開かれた、可能性としての書です。本展では、代表作約700点で柿沼康二の書の世界を紹介します。

プレスガイド

日時=11月22日(金)13:30～15:00(受付は総合案内にて13:00より) 場所=金沢21世紀美術館レクチャーホール
内容(予定)=キュレーター・秋元館長挨拶、概要説明、ギャラリートーク、質疑応答
※また下記のとおり内覧会、レセプションを行いますので、あわせてご参加ください。
内覧会=17:00～19:00/レセプション=18:00～19:00

アーティスト・トーク

日時=2013年11月23日(土) 14:00～15:30 会場=金沢21世紀美術館レクチャーホール
出演=柿沼康二(出展アーティスト)、中田英寿(ゲスト)、秋元雄史(本展キュレーター・金沢21世紀美術館館長)
料金=無料(ただし、本展観覧券が必要) 定員=先着70名(事前申込制) ※定員に達したため、受付を終了しました。

開催中の展覧会と関連イベント



フィオナ・タン | エリプシス

開催中～
11月10日(日)

フィオナ・タンは1966年、インドネシア・ブカンバル(スマトラ島)生まれ、現在アムステルダム在住の映像作家です。中国系の父とオーストラリア人の母を持ち、少女時代をオーストラリアで過ごした後にヨーロッパに移り住んだという経歴から、多様な文化圏を往来しながら、その複雑さや多層性を自らの内に認める作家でもあります。展覧会「フィオナ・タン | エリプシス」では、初期を代表する《Linnaeus' Flower Clock(リンネの花時計)》(1998)(金沢21世紀美術館蔵)から近作《Rise and Fall(ライズ・アンド・フォール)》(2009)、《Seven(セブン)》(2011)まで、映像、写真、インスタレーション作品を紹介し、不連続な時間軸上を行き交う視線や声が共鳴する詩的で静謐な表現を展観するものです。

本資料に関する
お問い合わせ

金沢21世紀美術館 広報担当: 落合・中山
〒920-8509 金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802
http://www.kanazawa21.jp
E-mail: press@kanazawa21.jp





イザベル&アルフレド・アキリザン 「住む:プロジェクト—もうひとつの国」

開催中～
11月10日(日)

イザベル&アルフレド・アキリザンによる《In-Habit(住む)》は、生産—消費の流れを示すダンボールを使って作る「家」を積み上げた、壮大なインスタレーション作品です。本作品は、ボルネオ島サバ州海岸部一帯を拠点にして暮らすバジャウ族の人々を参照しています。バジャウ族は船上または海の浅瀬に高床式住居を構え、一生を海の上で暮らす漂流民ですが、グローバル化の波を受けて、近年その暮らしぶりに変化が見られるとされています。アキリザンはバジャウ族を通してアジアの現状を俯瞰し、経済的かつ文化的グローバリゼーションによって支えられている価値観が、画一化の危険性を拡張しているという現実に向き合いながら、急速な世界情勢の変化に対して、個人が直面する問題を共に考える場を提案し続けています。今回の金沢でのプロジェクトは、地域の人々がバジャウ族の人々の暮らしに思いをはせながらダンボールで家を作り、それらが作品の一部として展示されます。

バジャウの人々の暮らしを想像して、アキリザンたちが建てた村に家をプレゼントしよう！

ダンボールを使って家を作ります。出来上がった家は、後日作品の一部に付け加えられます。

日時=8月4日(日)～11月10日(日)の日曜日 13:00～16:00

会場=金沢21世紀美術館 展示室6内 料金=無料(ただし、本展観覧券が必要)

※詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

島袋道浩 能登

2013.4.27.SAT.～
2014.3.2.SUN.

島袋道浩:能登

開催中～
2014年3月2日(日)

島袋道浩は、世界中を旅しながら、人間の生き方やコミュニケーションのあり方に関する作品を制作してきました。本企画は、能登特有の風習や産物に興味を持った島袋が、「メンバー」とともに能登を訪れ、アーティストならではの視点で発見したことを元に新作を作り上げる、1年間の長期プロジェクトです。金沢を中心とした若い人たちに芸術活動参画の機会を提供する「金沢若者夢チャレンジ・アートプログラム」の第7弾です。9月28日より後期展示として、両方の展示室で能登の調査を経て作られた新作を公開しています。※展示室13への入場には、当日の「コレクション展II」の観覧券が必要です。



ボーダーライン コレクション展II

開催中～
2014年3月16日(日)

未知のものに出会うときに感じる違和感、不安、恐怖。それは、ある種の境界がそこにあることを感じ取っているサインです。私たちは共通の言語、身体的特徴、ルール、記憶を持つ人々を「内部」として、それに当てはまらない「外部」を知らず知らずのうちに区別し、内と外を分かち境界を形成しています。境界は安全な内部を脅かす存在として時に外部を排除し、軋轢を生み出すが、同時に、内部と外部が交渉しながら新しいルールを見つけ出し、絶えず更新される流動的なものでもあります。つまり、境界は内部を広げる可能性を秘めた領域であるということができるとは思いませんか。

今年度のコレクション展は、このような視点に立って、境界を「分断するもの」から「繋がり、広げるもの」として捉え直そうとするものです。「ボーダーライン コレクション展I」では、私たちにとって一番身近な身体を基本に据え、境界の存在を意識し、内と外の関係を考察しました。「ボーダーライン コレクション展II」ではそれを社会的な境界へと広げ、当館コレクション作品を展覧します。

本展では、8作家の表現を通して、自己と他者、自分が属する集団とそれ以外の集団、私的領域と公的領域、国境、民族、ジェンダーなど、人間の意識が作り出したさまざまな境界に時に立ち向かい、時に横断しながら、境界を介して外部と接することで自己という内部の領域を拡張していこうとする人間の可能性を探ります。

学芸員によるギャラリートーク

日時=11月9日(土)14:00～(40分程度)

集合場所=金沢21世紀美術館 レクチャーホール前 料金=無料(ただし、当日の本展観覧券が必要)



フィロソフィカル・ファッション 2: アンリアレイジ ア カラー アン カラー ANREALAGE "A COLOR UN COLOR"

開催中～
11月24日(日)

目まぐるしく移り変わる流行、それを支えるファストファッションの隆盛が顕著ないま、衣服の意味を問い直し、一貫したコンセプトでファッションを提案するクリエイターを紹介するシリーズ「フィロソフィカル・ファッション」。第二弾では、身体や衣服への独自の考察から生まれるコンセプチュアルなデザインと、細部まで徹底的にこだわったものづくりで注目されるファッション・ブランド「ANREALAGE(アンリアレイジ)」を紹介します。

これまで「かたち」を解体してきたアンリアレイジが、本展では「色」を追求。5000着もの白い服とともに、太陽光で色を変える特殊染料を用いた服を展示し、流行のなかで移りゆく「色」について問いかけます。

平川武治 講演会

30年近くにわたり、パリと東京を往復しながら、独自の視点でモード批評を続けてきた平川武治氏が、モードの「いま」と「これから」を語ります。

日時＝2013年11月16日(土)13:30～15:00

集合場所＝金沢21世紀美術館 レクチャーホール前

料金＝無料 定員＝70名(事前申込制)

11月のキッズスタジオ・プログラム



ハンズオン・まるびい!

子どもも大人もいっしょに楽しめるスペースです。
いろいろな造形遊びで、工夫と発見を楽しもう!

プレイルーム

日時＝11月2日(土)、3日(日)、4日(月祝)、9日(土)、10日(日)、16日(土)、23日(土)、24日(日)、30日(土)
13:00～16:00(自由入場)

場所＝キッズスタジオ

対象＝子どもから大人まで(小さなお子さんは保護者同伴) 料金＝無料

(下はプログラムの例です。内容は日によって変わります。)

かたちで遊ぼう!

積み木やボタンや毛糸やいろいろ、つんだりならべたりしよう。

「ぐるぐるドロ잉」

まるい紙にぐるぐるいろいろな円をかこう。



親子向け情報・休憩スペース 「まるびい・すくすくステーション」

小さいお子様連れの方をサポートするスペースです。お子様と一緒に美術館で見て・感じて・楽しむ時間をお手伝いできるように、館内のおすすめスポットやプログラム、託児室などの情報をご用意しています。一休みするスポットやお散歩の寄り道としても、ぜひご利用ください。

開催日＝12月19日(木)までの毎週火木 10:00～12:30(自由入場)

※11月5日(火)は休場です。

会場＝キッズスタジオ 対象＝未就学児とその保護者 料金＝無料



絵本を読もう「ボーダーライン コレクション展II」とともに

絵本の読み聞かせのあと、展覧会の作品を鑑賞しましょう。

日時=11月30日(土) 14:00~(約40分間)
対象=子どもから大人まで(幼児は保護者同伴)
料金=無料
読み手=大西洋子

11月のステージ/イベント・プログラム



日韓国際共同制作

ONE DAY, MAYBE いつか、きっと

11月28日(木)~
12月8日(日)
シアター21集合

発案から3年、いよいよ最終地金沢公演がスタート!

『ONE DAY, MAYBE いつか、きっと』は、日本初上陸となる英国のカンパニー「ドリームシンクスピーク」による、観客体験型アートパフォーマンスです。企画立案から3年、ドリームシンクスピーク、高知県立美術館、金沢21世紀美術館、アジアン・カルチャー・コンプレックス(韓国)が連携し、光州、高知、金沢の3都市で発表する国際共同制作。いよいよ今年より金沢でパフォーマーとスタッフによる滞在制作とリハーサルを行い、10日間全13公演を実施します。

1980年光州で起こった民主化運動に着想を得たこの物語は、同時代的な視点でとらえられ、映像や音楽、ライブパフォーマンスなどを通して複層的に描きだされていきます。観客は自ら会場内を回遊して各場面を体験し、自身も作品の一部となる新感覚の舞台です。金沢21世紀美術館とタテマチストリートを舞台に、オーディションで選出された日韓出演者と3カ国スタッフによる異色のコラボレーションをお見逃しなく!

金沢公演(全13回)

日時=11月28日(木)~12月8日(日) ※11月28日はプレビュー公演

日時	28 木	29 金	30 土	1 日	2 月	3 火	4 水	5 木	6 金	7 土	8 日
16:30			◎			休 演				○	○
19:30	●	○		◎	○		○	○	○		
20:00			○								○

◎=アフタートーク
(ゲスト:トリストラン・シャープス)
●=プレビュー公演

料金=一般前売 4,000円/学生前売 3,000円 ※当日券は上記の金額に500円増

プレビュー公演2000円(若干枚数) 要電話申込 TEL 076-220-2811

定員=各回40名

チケット取扱=金沢21世紀美術館 ミュージアムショップ TEL 076-236-6072

ローソンチケット Lコード:58502 TEL 0570-000-777

お問い合わせ=金沢21世紀美術館 交流課 TEL 076-220-2811

※開演時間の30分前にシアター21に集合してください。

※本公演は金沢21世紀美術館で集合し、タテマチストリートへ移動します。

※会場内では歩きながら体験するパフォーマンスです。

※演出の都合上、開演時間を過ぎるとご入場いただけませんので予めご了承ください。

プレスリリース 11月1日配信号

一部恒久展示作品閉場について

2013年11月11日～11月22日の期間、展覧会ゾーン内の恒久展示作品：レアンドロ・エルリッヒ《スイミング・プール》、アニッシュ・カプーア《L'Origine du monde》などは展覧会ゾーンの展示替えのためご鑑賞いただけません。何卒ご了承ください。

美術奨励の日 11月9日(土)

市民がより美術に親しみ、豊かな心を育むよう、金沢21世紀美術館では、「美術奨励の日」を毎月第二土曜日に設けております。「美術奨励の日」は、金沢市民の方が金沢21世紀美術館主催の「コレクション展」を無料で観覧できる日です。総合案内で金沢市民であることを証明できるもの(運転免許証、健康保険証、年金手帳など)を提示いただき、無料の観覧券をお受け取りください。

11月の休館日

5日(火) / 11日(月) / 18日(月) / 25日(月)

本資料に関するお問い合わせ

金沢21世紀美術館

広報担当：落合、中山

〒920-8509 金沢市広坂1-2-1

TEL 076-220-2814 FAX 076-220-2802

<http://www.kanazawa21.jp> E-mail: press@kanazawa21.jp

※展覧会・イベントの開催時期や内容等は変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。